平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

1.施設の概要

1100 HZ 44 MA Z			
施設名	三田洞神仏温泉	所管課	高齢福祉課
所在地	岐阜市三田洞222番地		
指定管理者名	株式会社 三和サービス		
指定期間	平成24年2月1日~平成29年3月31日		
選定方法	✓ 公募	非公募	
料金制	☑ 使用料 □ 利用料	金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	40,628,571円		
施設の設置目的	高齢者及び障がい者に健全な保健休養の場を提供し、心身の健康の増進を図ることを目的として、三 田洞神仏温泉を設置する。		
施設概要	◇構造:(本館)鉄筋コンクリート造3階建、(浴室)鉄筋コンクリート造平屋建、(機械室)鉄筋コンクリート 造平屋建 ◇敷地面積:4, 206. 68㎡ ◇延べ床面積:1, 518. 86㎡ ◇事業開始:昭和43年2月 ◇施設内容:娯楽室、和室、洋室、浴室、脱衣場、休憩ホール、事務室		

2.利用状況

		H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数(単位:人)		43,700	42,329	41,049	40,974	41,009
各室利用						
人数(人)						

3.業務の履行確認

区分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者 サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①時間のを遵守し実施しております ②スタッフの配置は、支配人1名、受付6名、清掃7名、ボイラー管理3名を配置しております。 ③広報ぎふで講座の夢集や臨時休業のお知らせ等に活用し、自社のホームページも積極的に活用しております。 ④苦情の対応は、迅速に対応できるよう努め、対応できない場合も理解を求めるよう、ご利用者と向き合うように努めております。
自主事業・ 提案事業	-	
施設管理	①電気保安業務 ⑦空調保守点検 ②昇降機保守点検 ⑧自動ドア保守点検 ③ボイラー保守点検 ⑨スカイウエル保守点検 ④浄化槽保守点検 ⑩給茶機保守点検 ⑤防災保守点検 ⑪その他 ⑥非常放送設備保守点検	①~⑪まで法令等仕様書に基づき計画的に全て保守 点検を実施できております。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・修繕場所は迅速に対応できるように意識し、修繕が必要な場合は、速やかに本社へ連絡し、安全性を最優先にした修繕を心がけております。 ・日常における清掃は自社ノウハウを生かした清掃を行い清潔で快適な環境を提供できるよう心掛けております。又、休館日には、専門知識を持った自社のスタッフが浴室、タイル、カーペット等を清掃し快適に使用できるようにしております。
危機管理• 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報につきましては、厳格に対処しております。②地震・火災・停電などの非常事態における機械類の操作マニュアル及び対応マニュアルを設置し、防災訓練・救命救急訓練を年数回行いスタッフが対応できるようにしております。 ③関係法令は、社内教育訓練体系に基づき遵守しております。 ・三和サービス本社で毎月行われる全社会議・施設長会議・安全衛生会議に施設長が出席。安全衛生や接遇、危険管理、個人情報保護に関する研修、他施設で発生したヒヤリハットなどの報告事項をスタッフに口頭、冊子にて周知徹底している。

4.利用者評価	
利用者アンケー 実施状況	トの ・2月11日より2月28日迄利用者に対するアンケート(通常利用者120名、新規利用者50名)を施設 受付にて実施いたしました。
利用者アンケー実施結果	ももつと大さい有板設直があれば良い ・新しい追か出来でからわかりやすくなった ・最初述った ・曲がり角がわかりにくい
利用者から 要望・苦情 対処・改善	この問題については以前から利用者の方々にスタッフが声をかけたり、ポップを掲示をして理解を求め

5.指定管理者の選定基準に基づく評価

				評(T
区 分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準		所管課	評価 委員会
		平等利用を確保するための体制、モ ニタリングなど	・施設を知らない不公平をなくし、平等利用に繋げる。	Α	Α	Α
公平性 透明性 住民の平等利 用が確保される こと	情報公開、広報の方策	・個人情報及び市の許可が必要なも以外はすべて公開の対象とする。 ・「リーズナブルでのんびりくつろげ健康増進に繋がる温泉」として広報活動に重点を置く。	А	А	А	
			区分評価			Α
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法 及び対応方策など	「意見BOX」を設置するとともに、相談の受付など日々の業務を通じたニーズ把握。 ・内容の正確な把握及び対応手順をマニュアル化して再発防止に努める。	А	Α	Α
	事業計画書の	利用者に対するサービス向上の方策 (窓口応対、プロモーション、設備の整備など)	・「サービス業の心得」受講による接遇とサービスの向上。 ・朝の一斉清掃の実施。	S	Α	Α
効果性	内容が、対象 施設の効用(設 置目的)を最大	利用促進、利用者増の方策	・新規講座を増やし、パンフやホームページ等で広報。 ・建物や駐車場の看板等を大きく見やすいように変える。	S	Α	А
		サービスの質を確保するための体 制、モニタリングなど	・トップダウンと現場からのボトムアップによる管理運営。 ・定期的に利用者アンケート調査を実施。	Α	Α	А
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・経験のある職員を配置し、スタッフの機動的な対応を図る。	Α	Α	А
			区分評価			А
		収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	Α	Α	А
効率性 約	事業計画書の 内容が、管理 経費の縮減が 図られるもので あること	管理経費縮減の具体的方策	・本社が企画、総務等の業務を実施し、現場の事務負担 軽減と業務の見直しで無駄をなくしていく。 ・消耗品など本社にて一括購入し、コスト削減を図る。	Α	Α	А
		スタッフ配置の妥当性(無理はない か)	・サービスを低下させないように、効率的に職員を配置。	Α	Α	А
			区分評価			А

					評(西
区 分 選定基準		評価項目	具体的な業務要求水準		所管課	評価 委員会
		経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生/破産手続き開始の 申立てをしていない。 ・市税等の滞納がない。	Α	Α	Α
	事業計画書に 沿った管理を安 安定性 定して行う物的 安全性 能力、人的能	組織及びスタッフの経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・施設長には指定管理業務の経験者を、事務スタッフは 地域雇用を優先的に考え、維持管理業務には有資格者 を配置する。	Α	Α	Α
安定性		スタッフの人材育成の方策	・「利用者に満足感を与える」、「緊急事態に迅速に対応できる」、「業務内容を理解し、確実に実施できる」、「前向きで改善意欲を常に持てる」人材の育成を図る。	Α	Α	А
力を有している こと 		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・指定管理者が定めた「非常時対応マニュアル」及び「リスク対応マニュアル」に基づき対応。	Α	Α	А
			区分評価			Α
	事業計画書の 内容が、岐阜 市あるいは施 設がある特定	地元の法人その他の団体の育成(一 部業務の再委託先)	・市外委託業者は、委託料の見直しを行い、または市内 業者に委託先を変えるなど、地域(地元)を意識した業務 委託を行う。	Α	А	А
貢献性 の地域 「地元」 の振興	の地域(以下 「地元」という。) の振興、活性	地元での社会活動等への参加など地元団体との連携	・施設周辺の日常清掃の実施など地域環境美化へ積極 的に取り組む。	Α	Α	А
	化などに貢献 できるものであ ること		区分評価			А

6.指定管理者の取組み	に対する自己評価(良否、課題と解決策など)
今期の取組み に対する評価	【努力した点】 ・地域の方々や新しい利用者の方々に来て頂けるように新聞折込みを毎月1回入れております。 ・イベント数を増やし来館されるお客様に楽しんでいただけるようにしております。 【反省点】 ・毎月新聞折込みを作って入れているが新聞を読む人が少なくなっているため、ホームページで掲載したり来館された方に館内でチラシを配布を行い情報を提供していきたい。 【自己評価】 ・今期は、来館者数が上期は42,329人下期は43,700人103%と上がったため評価をAとしました。 ・スタッフがお客様に少しでも満足して頂けるよう一人一人がスキルアップを目指して頑張おります。アンケートにたくさんの嬉しいお言葉がいただけており励みになっております。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	【取組み状況(検討結果、取組中・取組済みのもの等】 ・スタッフ全員接遇マニュアル・緊急マニュアルを熟知し来館者の方々に安して利用していただけるように努めております ・講座については、折込みチラシなどを見ての問い合わせが多くなっております。 ・アンケート調査で利用者のご意見、ご要望、苦情などをは把握しトラブル防止策に繋げております。
今後の取組み	・多くの利用者の方に満足して頂けるようにスタッフ全員で努力してまいります ・館内で季節を楽しんでいただけるように、お花や季節の飾り(雛人形・五月人形・ツリーなど)を館内に展示し来館された方に喜んでいただけるように努めてまいります。 ・神仏温泉を少しでも楽しんでいただけるようにイベント・講座などお客様のニーズに応えられるよう取り組んでいきたいと思っております ・当施設では、不特定多数の方々が来館されますので緊急事態がいつ起こるかわからないため日頃から訓練、研修を重ね安全対策に努めてまいります。

7.所管課の意見

市発行の「広報ぎふ」等での各種講座募集はもとより、ホームページやチラシ等により施設のPRを行っている。 利用者数については、惜しくもS評価にはとどかなかったものの、最近3年間の平均値と比較し、今期は2,400人以上利用者が増加している。詳細なアンケート調査の実施等により、利用者のニーズの把握に努め、それを活かした運営に努めるなど、取り組みの成果があらわれたものと考えられる。 施設周辺の清掃活動や、駐車場の見回り等を実施したり、地元である三田洞のお祭りに積極的に参加するなど、地域との交流して努めている。

に努めている。

8.指定管理者評価委員会の意見

事業計画書のとおり、適正に管理運営されており、良好である。 今後も、利用者へのサービスの向上、適切な施設管理に努めてください。